

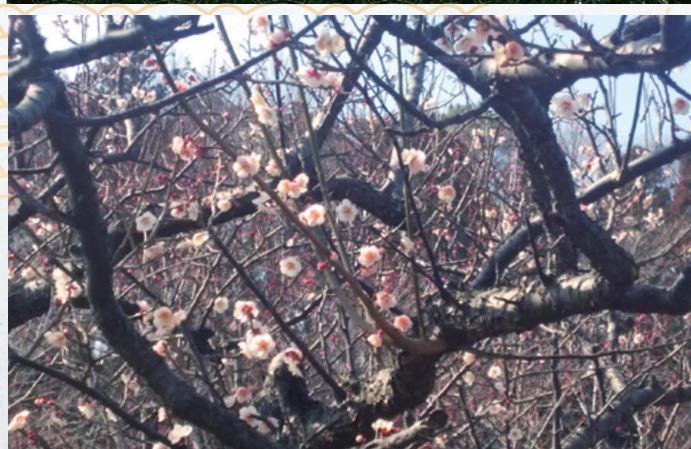
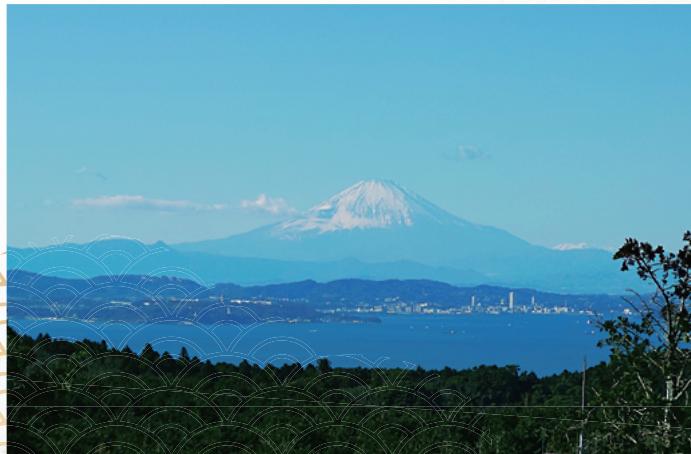


さつき会広報誌
さつき

Vol. 20 号

発行年月／令和7年1月
編集発行／社会医療法人社団さつき会
社会福祉法人さつき会

特集 | 新年のご挨拶 就任のご挨拶



(左上) 富士山、(右上) 菜の花

(左下) 梅の花、(右下) 菖蒲

こちらの写真は、職員からの公募で選ばれました

【撮影者：Y.Jさん、C.Hさん】

■ 新年のご挨拶

新年あけましておめでとうございます。地域の皆様に謹んで新春のお祝いを申し上げます。

日頃より当法人の運営にご支援ご協力を賜り、心より御礼申し上げます。

さて、2025年は団塊世代の方々が75歳を迎える、高齢者人口が3500万人を超える2025年問題と言われる超高齢化社会へ入ります。出生率の減少に端を発する労働人口の減少いわゆる人手不足が顕著となり、政府主導の働き方改革と相まってこれまでに経験のない人材獲得競争が日本中で起こっています。

医療福祉分野においても多分に漏れず、この超高齢化社会を支える医療・福祉の担い手の獲得が課題となっています。さつき会の求人活動としての学校周りや紹介会社の活用、医療・福祉職教育支援など様々な手を打ち、昨年からは地域の中学生への病院の職場見学、高校生への職場体験を始め、インターナンスの学生の受け入れと共に医療・介護の現場に触れていただく機会を多く作ってきました。

また、コロナ禍で少し停滞していた外国籍の職員(EPA、(特定)技能実習生、留学生等)受け入れも再開させ、積極的に進めています。当法人とベトナム国との交流は30年を超え、その他インドネシアやフィリピン、ミャンマーなどの国々からも医療・介護の現場を助けるため来日していただいている。

日本の産業は外国の方々の援助で成り立っている業態が増えてきており、その流れは今後ますます加速していくでしょう。外国人の受け入れに当たり、技能実習生の待遇や劣悪な労働環境などがニュースで取り上げられることがありますが、労働環境を整え、来日した彼・彼女達にとって日本に来てよかったですと思える関係を作り上げてほしいと切に願うばかりであります。

人材の獲得が厳しい時代でありますが、日本の医療・福祉を助けに来てくれた外国籍の方々に敬意を払い、共に地域に貢献できるよう努めて参ります。

最後になりますが、2025年が皆様にとって良い年となりますよう心からお祈り申し上げます。



社会医療法人社団さつき会
社会福祉法人さつき会

やまとかひろ
理事長 矢田 高裕

明けましておめでとうございます。昨年は地域の皆様、患者様およびご家族様、さまざまな機関の方々、職員の皆様にたいへんお世話になりました。心より御礼を申し上げます。本年もどうかよろしくお願ひ申し上げます。

昨年4月には君津圏域が医師少数区域に指定されました。もともと千葉県は人口あたりの医師数が全国で下から2番目、看護師は最下位です。昨年はその人員不足が深刻化して、当院でも病棟をひとつ閉鎖せざるを得ませんでした。これは県内の病院いたるところで起きている現象です。

福祉でも介護者の不足は慢性化しています。運転手など他の業種でも人手不足なので、これまでいったん拡大した事業は人口に応じた規模に変化せざるを得ません。今年はそのような社会の再編がさらに続き、落ち着くところに落ち着いていく年になるだろうと予想しています。

当院の存在意義は地域の皆様のお役にたつことです。医療の質を落とすことはできません。二次救急病院や総合病院としての機能や精神科三次レベルの最先端医療を提供し続けるため、さらに洗練された病院をめざしていきます。

職員は团结してよりよい医療を提供してまいりたいと思いますので、皆様からもあたたかいご声援を賜りますよう、今年もどうかよろしくお願ひ申し上げます。



社会医療法人社団さつき会
袖ヶ浦さつき台病院

きくち しゅういち
院長 菊池 周一

あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願い申し上げます。

社会医療法人社団さつき会 社会福祉法人さつき会 理事長	や だ たか ひろ 矢田 高裕
袖ヶ浦さつき台病院 院長	きく ち しゅう いち 菊池 周一
さつき台訪問看護ステーション 所長	なか はら おう こ 中原 桜子
さつき会ケアマネセンター 所長	た まる ゆ か 田丸 由香
かづさアカデミアクリニック 施設長	ゆ さ とし かず 由佐 俊和
ケアセンターさつき センター長	きよ かわ おり え 清川 織恵
さつき台クリニック 施設長	かま だ ち か 鎌田 千華
特別養護老人ホーム袖ヶ浦菜の花苑 施設長	けん もち けい た 剣持 敬太
特別養護老人ホームつつじ苑 施設長	ます だ ち ょ み 増田智代美
介護老人保健施設カトレアンホーム 施設長	たか はし てつ お 高橋 哲夫



就任のご挨拶

袖ヶ浦さつき台病院
事務部 部長 こう じ まこと
小路 真

このたび、当院事務部長に就任しました小路真(こうじまこと)と申します。大変重要な職務を頂き、感謝申し上げます。

当院の理念の中に「愛情と感謝の念を持って、医療・保健・福祉サービスを提供し、地域に貢献する。」とあります。少子高齢化が加速していく状況下、絶え間ない地域医療サービスを維持するためには、患者様第一主義を大きな柱としながら、医療の質の向上や職員のスキルアップも同時にを行い、持続可能で強固な経営基盤を構築していくことが、社会貢献に繋がるものと考えます。



また、当院は地域医療を担う中核医療機関であり、当院の関連施設、行政及び地域の関係機関との連携が非常に重要であると考えております。

誠に微力ではございますが、万里一空の精神を忘れず精進して参りますので、皆様のご指導ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

表彰

千葉県健康福祉部長表彰(精神保健福祉事業) 令和6年11月6日 院長 菊池 周一

委員会紹介

接遇委員会

袖ヶ浦さつき台病院
接遇委員会 委員長

かく
賀来 かおり

昨年より、職員の接遇向上に向けて接遇委員会を立ち上げ、活動して参りました。接遇課題の抽出の為、実態調査を実施し、その課題解決のために研修会を開催しました。講師は、長年お世話になっている、株)ヒューマンスキル開発センターの笠井徳子先生にお願いしました。受講者は各部署で選出されたロールモデルとなる中堅職員32名です。内容は「適切な敬語」「忙しくても態度表情に出ない工夫」など、講義とグループワークの形式で行いました。受講者は活発に意見交換を行い、多職種で交流を深めました。受講後のアンケートでは「先生のお話や他職種の方のお話が勉強になった」「自分を更にレベルアップさせなければいけない」などの前向きな意見が聞かれ、受講者全員が「今後に活かすことが出来る」と回答し、有意義な研修会となりました。

今後は、継続的な研修の開催と、今回参加できなかった全職員へ研修内容が共有できるように配信していく予定です。

職員一同、接遇の向上に取り組み、地域の皆様に安心して当院をご利用頂ける様に努めてまいります。



地域医療の存続に向けて

し みず よし あき
袖ヶ浦さつき台病院 医事課第二 課長 清水 由明

昨今の日本の地域医療の課題のひとつに、高齢者の救急受入れをどうしていくかということがあります。高齢化の進展と共に在宅からの高齢者救急搬送の増加が懸念され、特に重症というよりその多くは軽症・中等症患者といわれています。

医療現場では医師や看護師の人材不足から、救急受入れが難しくなってきており、本来受入れの最後の砦といわれる、3次病院(公立・大学病院)で第1次選択的に救急を受けざるを得ない状況となっています。この為、3次病院の受入病床が逼迫しており、この地域も同様の傾向となっています。

当院ではこの状況を軽減する為、近隣の3次病院と協議の上、一旦、3次病院で入院した患者さんでも当院で受入可能な症状であれば、入院でお受けする「下り搬送」という取組みを始めています。又、この様な高齢者救急患者を収容する病棟として、今年の診療報酬改定により新設された「地域包括医療病棟」を届出し、この地域の医療を存続させる一役を担えればと考えております。

職場体験・見学会

小中学生対象職場見学会を開催いたしました

はなざわ ちひろ
袖ヶ浦さつき台病院 総務課 副主任 花澤 千尋

当院では今年度から、小中学生に働くことの大切さや意義を理解していただき、身近な職場として医療に対する関心や親しみをもってもらい将来の働く場の選択肢となることを目的とし、地域の小中学生を対象とした職場見学会を開催いたしました。第1回は令和6年8月6日(火)に市内中学校の2年生5名、第2回は令和6年10月23日(水)に市内中学校の2年生5名の参加がありました。



来院時は緊張で表情が硬くなっていた生徒も、院内を歩き、様々な職種の職員と関るに連れて笑

顔が増えていきました。熱心に説明を聞いている様子に、職員も説明に熱が入り、2時間の予定時間を超えての見学会となりました。

今回、残念ながら諸事情により小学生の参加は見合わせとなりましたが、見学会を通して病院や医療職について興味を持って頂き、未来の医療職員を育てるに繋がるよう開催を継続していきます。



高校生対象インターンシップ

「リハビリ専門職になりたい人集まれ2024」開催の報告

えのもと ゆみ ときや はるき
袖ヶ浦さつき台病院 リハビリテーション部 係長 榎本 有実 副主任 時谷 春希

地域への貢献事業の一環として、高校生を対象にしたインターンシップを2024年5月から全5回開催いたしました。

合計35名が参加し、リハビリ専門職(理学療法士、作業療法士、言語聴覚士)の体験や患者様と関わり、魅力ややりがいなどを知ってもらいました。参加した高校生からは「とてもいい仕事と思った」「その方の人生を良い方向へ変えることができる仕事」「リハビリの仕事に就けるよう頑張りたい」との感想を頂きました。

厚労省労働白書によると、「社会保障の担い手である医療・福祉分野の就業者数は急速に増加しており、引き続き2040(令和22)年に向けて、更に担い手が必要となることが見込まれている」とされており、医療職の人員確保が必要になってきます。

今回参加してくれた高校生が医療に興味を持ち、将来リハビリ専門職となり、一緒に地域の皆様の生活を支えていけることを楽しみにしています。



理学療法士による装具体験
作業療法士による自助具体験を行いました。



言語聴覚士による嚥下機能体験
リンゴジュースにとろみを付けて飲んでみます。

総合防災訓練における広域搬送訓練に 参加いたしました(DPAT)

袖ヶ浦さつき台病院
診療情報管理室 とりいなおき
係長 鳥井 直樹

首都直下地震を想定した、令和6年度大規模地震時医療活動訓練に「袖ヶ浦さつき台病院DPAT」として参加致しました。全国よりDMAT・DPATが参集する大規模な訓練で、当院は被災した医療機関の入院患者さんを受け入れ、その後の転院調整を行う、一時集積所の運営に加わり訓練を実施しました。非常時における情報収集、処理の難しさ、限られた情報・人員・物資の中での対応の難しさを痛感し、大変有意義な訓練となりました。今後も大規模災害に備えてまいります。

DMAT: 災害派遣医療チーム(Disaster Medical Assistance Team)の略
DPAT: 災害派遣精神医療チーム(Disaster Psychiatric Assistance Team)の略



BCP(医療継続計画)に基づく 災害訓練の実施について

袖ヶ浦さつき台病院
総務課 もりまさよし
課長 森正祥

当院のBCP(医療継続計画)に基づく大規模地震想定訓練が実施されました。

今回は、①当院の災害対策本部を円滑に設置すること、②院内の被害情報が適切に報告され、その情報を本部で集約・整理ができるところに焦点を当てて訓練を行いました。



災害が発生した場合、
患者様・来院者・職員の
安否及び傷病状況、建物・設備・医療機器の被害状況など、多くの情報
が混乱の中で集まることだと思います。日頃から組織的に訓練を行う
ことは、有事の際に円滑に病院を運営することに繋がることだと思います
ので、引き続き実践的な訓練を定期的に行っていきたいと思います。



社会医療法人社団さつき会 親睦旅行

社会医療法人社団さつき会 いしいゆみこ
親睦会 会長 石井弓子

親睦会では、職員同士の親睦を深める目的で職員旅行を実施しています。

今年度は、3コース(①「マクセルアクアパークとチームラボプラネット」②劇団四季「アナと雪の女王」③「東京ドイツ村BBQ」)を用意し237名が参加しました。参加者からは「食事がおいしかった」「他部署と交流ができた」など感想を頂きました。来年度も職員同士のコミュニケーション円滑化につなげられるよう企画してまいります。

社会福祉法人さつき会 新年のご挨拶

特別養護老人ホーム 袖ヶ浦菜の花苑（袖ヶ浦市）

10月に年始の御挨拶。うーんと唸らざるを得ないのは、まだ何が起こるか分からぬ危機感・不安感なのか、ワクワクドキドキ期待感なのか。駿河で長く過ごした身としては近年の災害は非常に気になります。一週間すればインフラも物流も復旧……いや首都直下ではそんな都合いい復旧などないわけで。私どもの施設機能をどう活かし、地域をどう生かすか。そう考えているのですが、年の初めの御挨拶がこれでよろしいかは皆様に委ねる次第です。甚だ末筆ながら、謹んで新年のお慶びを申し上げます。



けん もち けい た
施設長 剣持 敬太

特別養護老人ホーム つつじ苑（富津市）

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

日頃より当苑の運営に温かなご支援とご協力を賜り心より御礼申し上げます。

近年介護業界においても、急速にデジタル技術やIT技術の導入が進められております。

当法人もその技術を取り入れ、働く人の負担軽減と質の高い介護サービスの安定・事業持続の為に業務改善を進めていく必要があります。人と人とのつながりを大事にしながら、時代の変化にも後れを取らぬよう常にチャレンジをして参ります。

皆様から信頼され安心して頂けるよう職員一同取り組んで参りますので、変わらぬご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



ますだ ちよみ
施設長 増田 智代美

介護老人保健施設 カトレアンホーム（袖ヶ浦市）

新年あけましておめでとうございます。日頃当施設をご利用して頂き感謝申し上げます。

介護施設は様々あり、特徴を理解するのは難しい状況ですが、当施設は介護老人保健施設です。介護老人福祉施設(特養)と混同されることがありますが、病院と自宅の間を橋渡しする施設であり、在宅復帰、在宅療養支援を目的として設立されております。

本来の使命を果たせるよう日々努めておりますので、今後ともよろしくお願ひ申し上げます。



たか はし てつ お
施設長 高橋 哲夫



SATSUKI's Kitchen

βカロテンが
豊富



かぼちゃのマフィン

[材料(マフィンカップ4個分)]

■ かぼちゃ	150g (種と綿を除いた状態)
卵	1個
砂糖	40g
薄力粉	80g
ベーキングパウダー	3g
サラダ油	30g

[作りかた]

- ① かぼちゃは外側をよく洗い、種と綿を取り除く。皮が付いた状態で4cm角くらいの大きさに切る。
- ② かぼちゃのを耐熱の皿に載せ、ラップをかけて600wの電子レンジで5分加熱する。皮を切り落とし、皮は5mm角に刻んでおく。実の部分はフォークで塊がなくなるまでつぶす。
- ③ オーブンを170°Cに予熱しておく。
- ④ 薄力粉とベーキングパウダーを合わせてふるいにかけておく。
- ⑤ ボウルに卵を割り入れ、泡立て器でほぐす。砂糖とサラダ油を加えて混ぜ合わせる。
- ⑥ つぶしたかぼちゃを加えて混ぜる。④を加え、粉っぽさがなくなるまで混ぜる。
- ⑦ 最後にかぼちゃの皮を混ぜ、マフィンカップに6分目くらいまで入れる。
- ⑧ 170°Cのオーブンで25分焼く。

◆ エネルギー 224kcal たんぱく質3.9g 脂質9.2g 炭水化物33.1g 食塩相当量0.2g 栄養量(1個あたり)

POINT

甘さ控えめでかぼちゃの甘みを感じられるレシピです。

かぼちゃにはβカロテンが豊富に含まれています。βカロテンには皮膚や粘膜の健康を維持したり、免疫機能を維持したりする働きがあります。皮に特に多く含まれるので、皮ごと使うことでより多く摂れます。また、βカロテンは油に溶け出るので、油を使ったマフィンでは効率よく吸収できます。

すみとも みどり
管理栄養士 住友 緑

さつき手帳

医師が不足している／昨年の医学生の進路は驚くべきことに「美容外科」が多く、不足している地域の外科や産婦人科、小児科を担おうとする者は少ない／税金を使って都市部の美容整形を増やすのは、なんか本末転倒のような気がする／生活を考えてのことなのか、リスクを避けようとしているのか／医師を目指す者は、国試で選ばれて医師になるのだから、大志をもって自分の進む道を考えてほしい／社会もその勇気をきっと応援してくれるはずだ(S.K)

編集後記 少し前まで暑い暑いと言っていたのが、いつの間にか冬到来です。今年は加湿で過乾燥を乗り切りたいです(S.O)

社会医療法人社団さつき会／社会福祉法人 さつき会



袖ヶ浦さつき台病院

〒299-0246 袖ヶ浦市長浦駅前5-21

■ 代表電話 0438-62-1113

外来予約センター

(日、祝祭日を除く／受付時間8:30～16:00)

■ 直通電話 0438-60-1141

広報誌 事務局 総務課

袖ヶ浦さつき台病院

広報誌に関するお問い合わせ

0438-62-1113

袖ヶ浦さつき台病院

SEARCH

<https://www.satsuki-kai.or.jp/>

最新のお知らせは
ホームページを
ご覧下さい。

